

平成26年3月20日

紫波町長 熊谷 泉 殿

紫波町PFI事業懇話会

座長 岩田 智

副座長 森 智志

委員 土岐 徹朗

委員 伊藤 昇

委員 渡邊 祐子

意見書

紫波町管理型浄化槽整備事業の推進に当たり、紫波町PFI事業審査委員会によるモニタリング調査結果に対して、次のように意見を付して報告します。

意見

紫波町管理型浄化槽整備事業は、事業開始から8年経過したが、浄化槽の設置基数は当初の計画目標基数を下回っている。町は、浄化槽の設置基数を更に伸ばすための新たな手法を検討し、引き続き浄化槽の普及拡大が図られるよう努めること。

付帯意見

改善項目	意見
事業推進に関する事項	<p>今年度の設置基数は前年度をやや上回ったものの、依然として浄化槽設置目標基数と設置基数との間に乖離が生じている。また、来年度は消費税増税を控え、設置基数へのさらなる影響が懸念される。町は、浄化槽の設置を推進するための新たな補助制度の導入を検討しつつ、住民の浄化槽の設置等需要・意向の把握など適正な計画目標に基づき事業を実施していただきたい。</p>
住民サービス向上に関する事項	<p>アンケート調査によると、浄化槽工事及び浄化槽維持管理の説明については住民から一定の評価が得られているようである。また、昨年の8月9日の大雨災害において、迅速な対応をとったことは評価できる。町及び紫波PFI浄化槽整備株式会社は、今後とも住民への分かりやすい説明を継続するとともに、住民のニーズに寄り添ったサービスの提供を心掛けていただきたい。</p>
維持管理に関する事項	<p>法定検査結果において、未だ不適正とされる浄化槽は1件も出ていないものの、設置年数が増えるにつれ水質がやや低下傾向にあることがうかがわれる。紫波PFI浄化槽整備株式会社は、日頃の維持管理業務においてさらなる水質向上化を図るとともに、浄化槽使用者である住民に対し、正しい使用方法について町と共同しながら再度周知を図っていただきたい。</p>